

2025年 広島に原子爆弾が投下されて80年をむかえます
いっしょに平和について考えてみませんか？

福山市立久松台小学校

①平和集会から考えよう

7月4日（金）の朝会では、4年生児童の進行による平和集会を行いました。4年生児童が、戦争について調べたことを発表したり、平和を守っていくために自分達ができることを伝えたりして、改めて全校児童で平和への思いを強めることができました。「戦争をやめてほしい」「平和な世界になってほしい」という願いをこめて、児童みんなで折り鶴を折りました。一羽一羽をつないで千羽鶴にし、8月8日（金）に開催される「市民平和の集い、原爆福山戦災死没者慰霊式」へささげます。



②被爆アオギリ2世から考えよう

被爆アオギリを知っていますか。爆心地から北東へ約1.3 km にあったアオギリは、爆心地側の幹半分が熱戦と爆風により焼けました。しかし樹皮が傷跡を包むようにして成長を続け、芽吹きました。その後、被爆アオギリは平和記念公園に移植されましたが“平和を愛する心”、“命あるものを大切にする心”を後世に継承するため、このアオギリが実らせた種を発芽させて育て、成長した苗木を「被爆アオギリ二世」と名付けています。写真は久松台小学校にある「被爆アオギリ二世」です。現在、地域の方が平和を願いお世話をしてくださっています。どこにあるか分かりますか。去年のものと比べてみてください。私たちと同じように命があるからこそ大きく成長しています。

①平和への誓いから考えよう

2024年の平和記念式典の中で代表の小学生が伝えたものの一部です。「平和」について具体的に伝えてくれています。今年の平和記念式典ではどんな平和への誓いが伝えられるのでしょうか。見たり、調べたりしてみてください。

願うだけでは、平和はおとずれません。
色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです。
一人一人が相手の話をよく聞くこと。
「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。
仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。
私たちにもできる平和への一歩です。



2024年

2025年

お家の人と「平和」について話したり、
自主勉強等に考えたことを書いたり、
調べたりしてもよいかもしれません。

